

こどもにとって遊びとは？

～私たち大人ができることと発達を促す遊び～

天心堂へつぎ病院 リハビリテーション課

本日の講座内容

- ・遊びとは？
- ・遊びの分類
- ・発達プロセス
- ・発達を促す遊び
- ・遊びの本質と大切にしたいこと

こどもにとって遊びとは？



この写真を見て、手前の女の子の中に遊びは存在していると思いますか？



あの子、何やっているのかな？
気になるな・・・
やってみたいな・・・

**と、思っているならば、
遊びはもう始まっています！**

やってみたいな、と思うその心の動きが遊びの原動力！

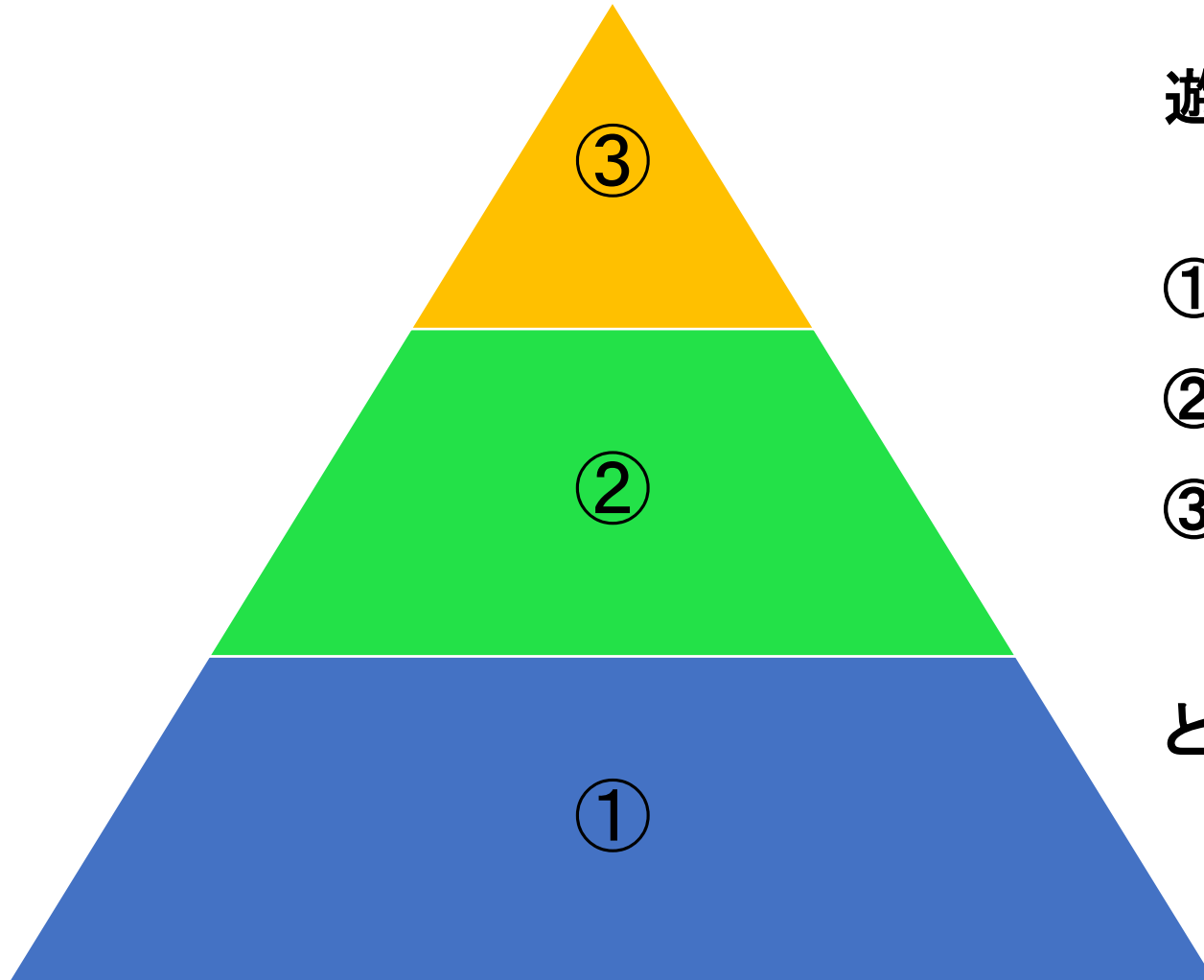
遊びの分類

遊び方の分類・社会参加度

Partenの分類

- ・専念しない遊び:何もせずぶらぶらしているだけ
- ・傍観遊び:他の遊びを見ているだけ
- ・ひとり遊び:自分一人の遊びに没頭している
- ・平行遊び:他のこどものそばで同じような遊びを展開するが、互いに関わり合わない
- ・連合遊び:他の子供と玩具のやりとりを通して遊ぶ
- ・協働遊び:共通の目標に向かって仲間関係が組織され役割を持って遊ぶ

遊びの発達の側面



遊びの発達の側面には、

①感覚・運動遊び

②構成遊び

③社会的遊び

という段階的な枠組みがある。(岩崎、2015)

①感覚・運動遊びの時期

自分で自分の身体を動かすことで得られる感覚を通して、自分という存在やこの世界を知覚していくことそのものが遊びの時期



私たち大人ができること



うまくおもちゃが口に入らないな・・・

・おもちゃを口に入れてあげる？

・手を操作して手伝ってあげる？

・少し脇腹を支えてあげる？

→本人の意志を尊重するならどれを選ぶ？

大人が遊ばせるのではなくて、どうやったらこの子がやりたい遊びができるか？を追求する

私たち大人ができること



自分の体を使って、思う存分にこの世界を探索できるように環境を整える

→安全への配慮、リスク管理

動作と言葉の概念はセットで学習されるため、この時期の遊びは生きる土台となる

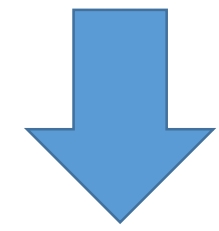
②構成遊び

構成遊びができる＝目の前にないものを想像できる



てつだって

が言えるようになるのが
この時期の目標！



いらっしやいませ～♪
何のジュースにしますか？



「私の作ったジュースでお店屋さんをしようかな・・・」など
自分の作った物を介してひととつながる
＝三項関係

私たち大人ができること

「何かあったら手伝うよ」→大人のスタンス

うん。手伝って。

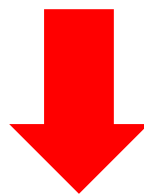


手伝おうか？

手伝ってもらうかを選択するのは**子供自身**！

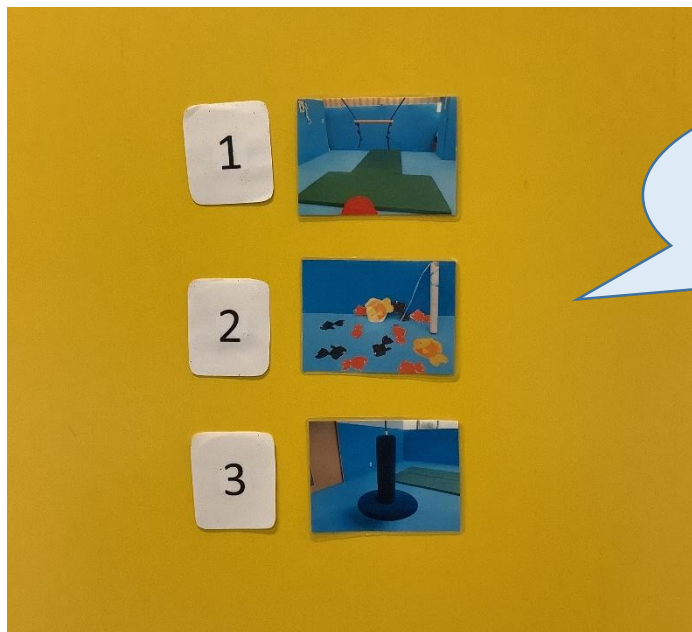
自由を保証することと好き放題は違う

ひとり遊びなどを通じて遊びに没頭すること◎
こどもたちの想像力に任せ、自由を保証するのも大人の役目



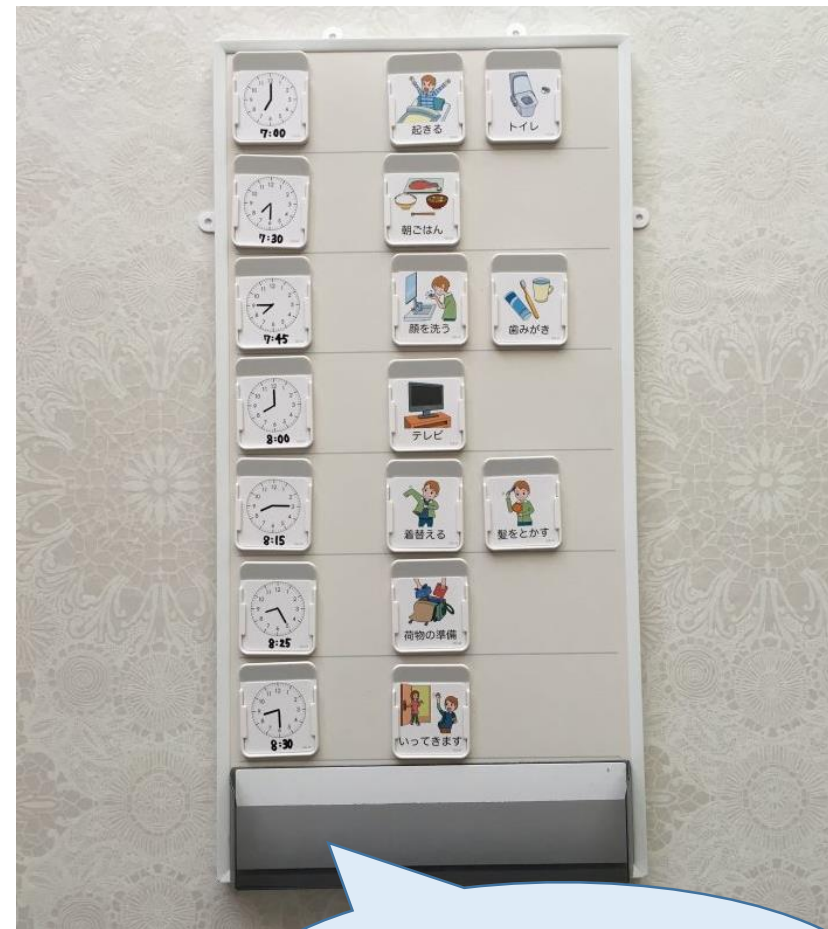
日常生活に支障が出る場合は配慮が必要！

具体的には・・・ **目で見て分かる！** がポイント



何をするか？

いつまでするか？



これからどうするか？

アフォーダンスの利用

物から発せられるメッセージを利用して、
目で見て分かる！を演出する

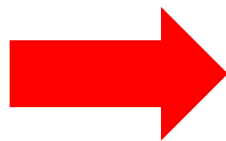
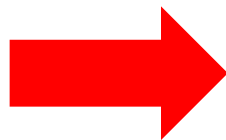


環境を変えることで遊び方が変わる！

ひとり遊びから他者への広がり ひとり遊び→平行遊び→連合遊びへ

個人それぞれの遊びから・・・

みんなで遊ぶ楽しさに！



いらっしゃいませ～～

③社会的遊び

他者とイメージやルールを共有して遊ぶ



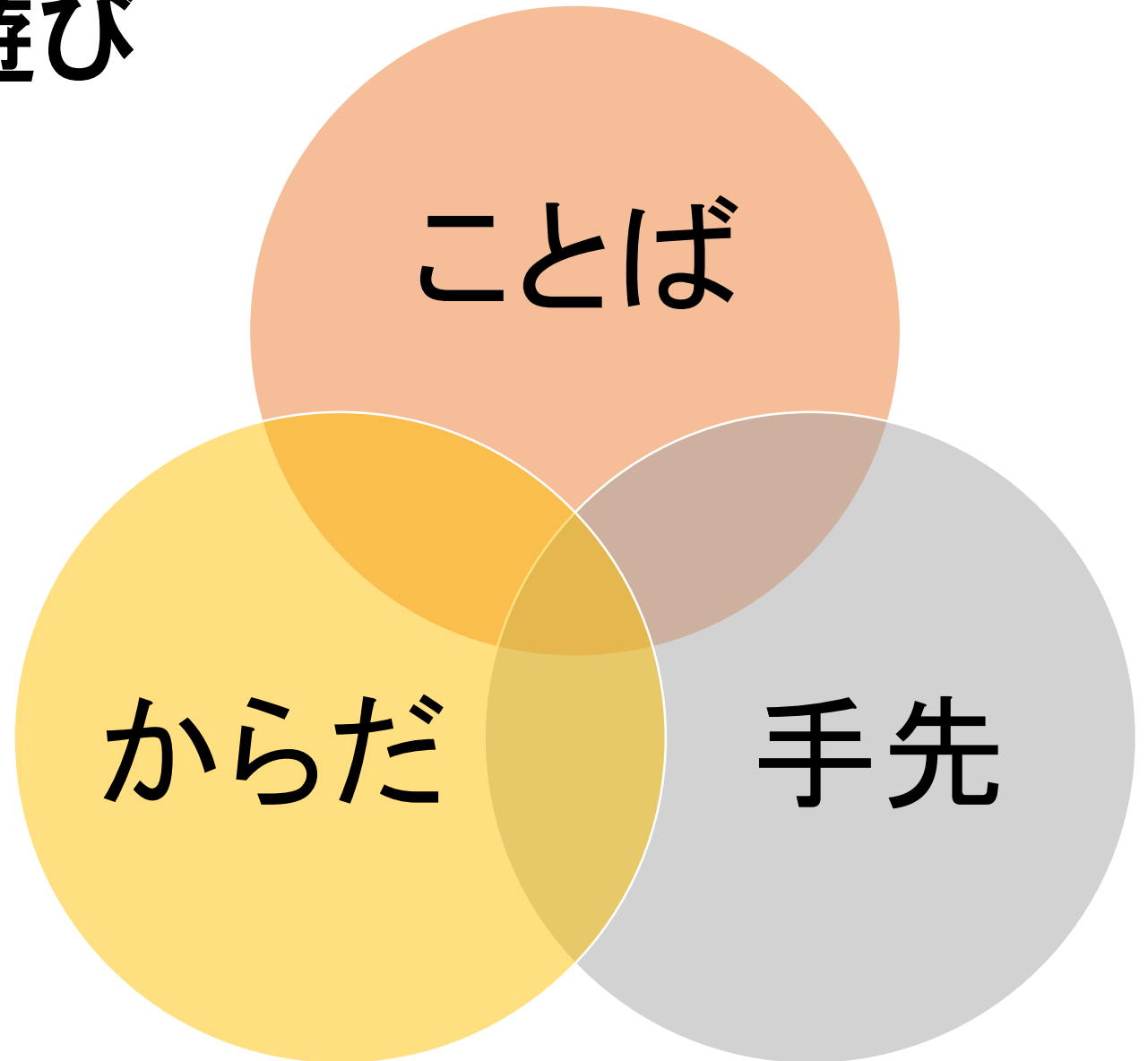
他者と自身の遊びのイメージにズレが生じる(衝突)

他者が自身とは異なる考えを持つこと、
他者の行動や言葉の背景には意図があることをに気づく。

ケンカはチャンス！

おうちで出来るおやこ遊び

- ①5～10分など短時間でOK
- ②うまく遊べなくてOK
- ③するか、しないか選ばせてあげよう
- ④少しずつコツコツチャレンジ



運動あそび①

なりきり動物ゲーム

ことば

こどもも、おとなも
ハイハイしよう！

★
からだ

手先

手先が不器用
なお子さんにおすすめ！

体幹や肩周りが安定する
→姿勢が良くなる！
→手先も器用に！



トンネルは自分の身体を意識する
→ボディーイメージが完成

運動あそび②

おしくらまんじゅう押されて出るな

ことば

★
からだ

手先

力を入れたり、抜いたり
とコントラストがある動きが出来る！

綱引き、だるまさんが転んだなどもおすすめ！



力の加減が難しい、
じっとしてられない
といった困りがある
お子さんにおすすめ

動きを止める、力を入れ続ける
練習になる！

運動あそび③

レパートリー無限大！いろいろサーキット

渡って



ジャンプ



落ちないように...



ことば

からだ

手先

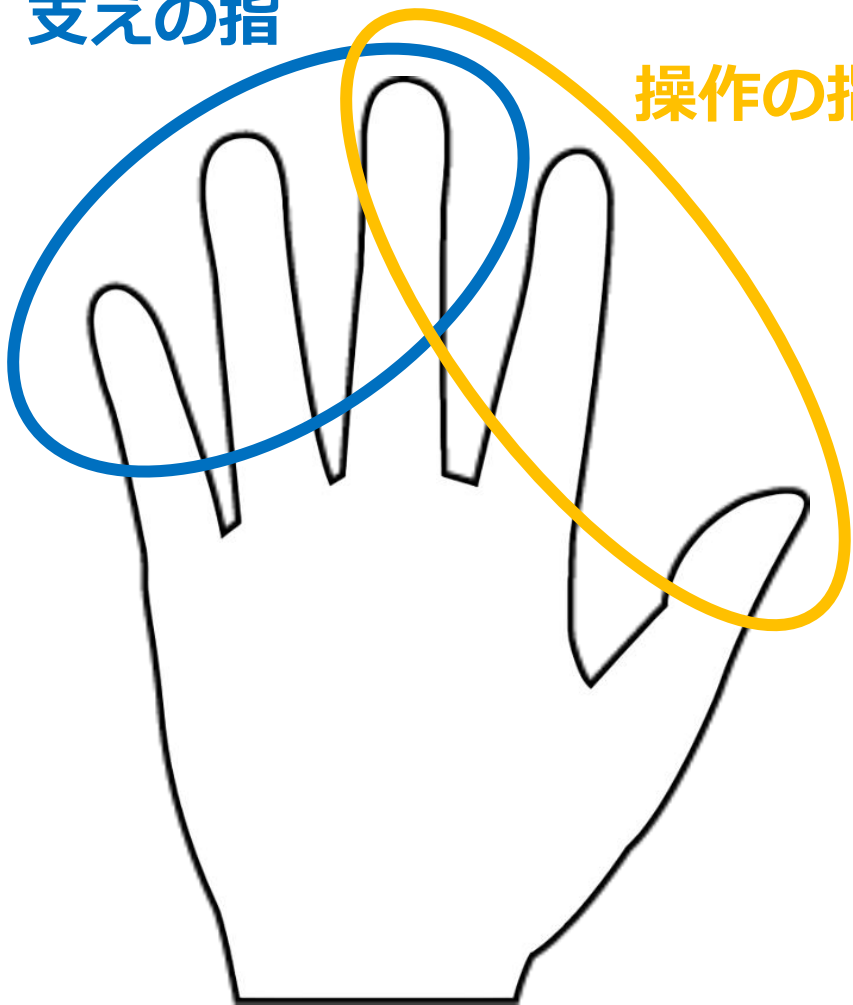


何でもあり！苦手な事も楽しく！さりげなく！

手先が不器用なお子さんに

支えの指

操作の指



原因はいろいろ・・・どれが苦手？

①手の動きが悪い子

操作の指(親指～中指:青色)

・ペンや箸を持って動かす ・折り紙を折る

支えの指(中指～小指:オレンジ)

・ペンや箸を支える ・折り紙をおさえる

※指が上手に使えない子は→手先の遊び①へ

②握ることが苦手

肩や肘、手首が弱い子は支える力を強くする

・他の子より筋肉が柔らかい ・肘の抜けやすい子

※握る力が弱い子は→運動遊び!

③見ることが苦手

見る力や動く力を育てる

・積み木が苦手 ・塗り絵が苦手 ・お絵かき(人の絵)が苦手

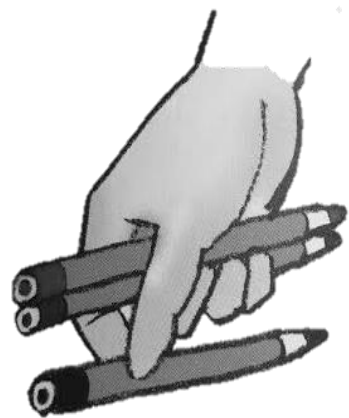
※目で見て身体や手を動かすことが苦手な子は→手先の遊び②へ

手先の遊び①手の動きが悪い



左図（タコの絵）のように指先で上下, 左右に回転

操作と支えの指の
使い分けが大切

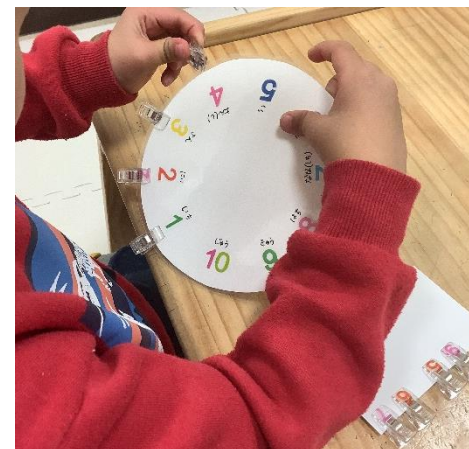


右図（ペンの絵）のように片手（親指～中指）だけで片付け
（おはじきなどでもOK!）



洗濯ばさみ

穴開けパンチ



お団子移し

手先の遊び②見る手が苦手



言葉あそび①

絵本の読み聞かせ

★
ことば

からだ

手先

本を通して
会話をしよう！

言葉の発達が気になる
お子さんにおすすめ！

新しい言葉に触れる
→ **語彙**や**想像力**の増加や
コミュニケーションへの応用



親子での**コミュニケーション**
→ **安心・安定**をもたらす

言葉あそび②

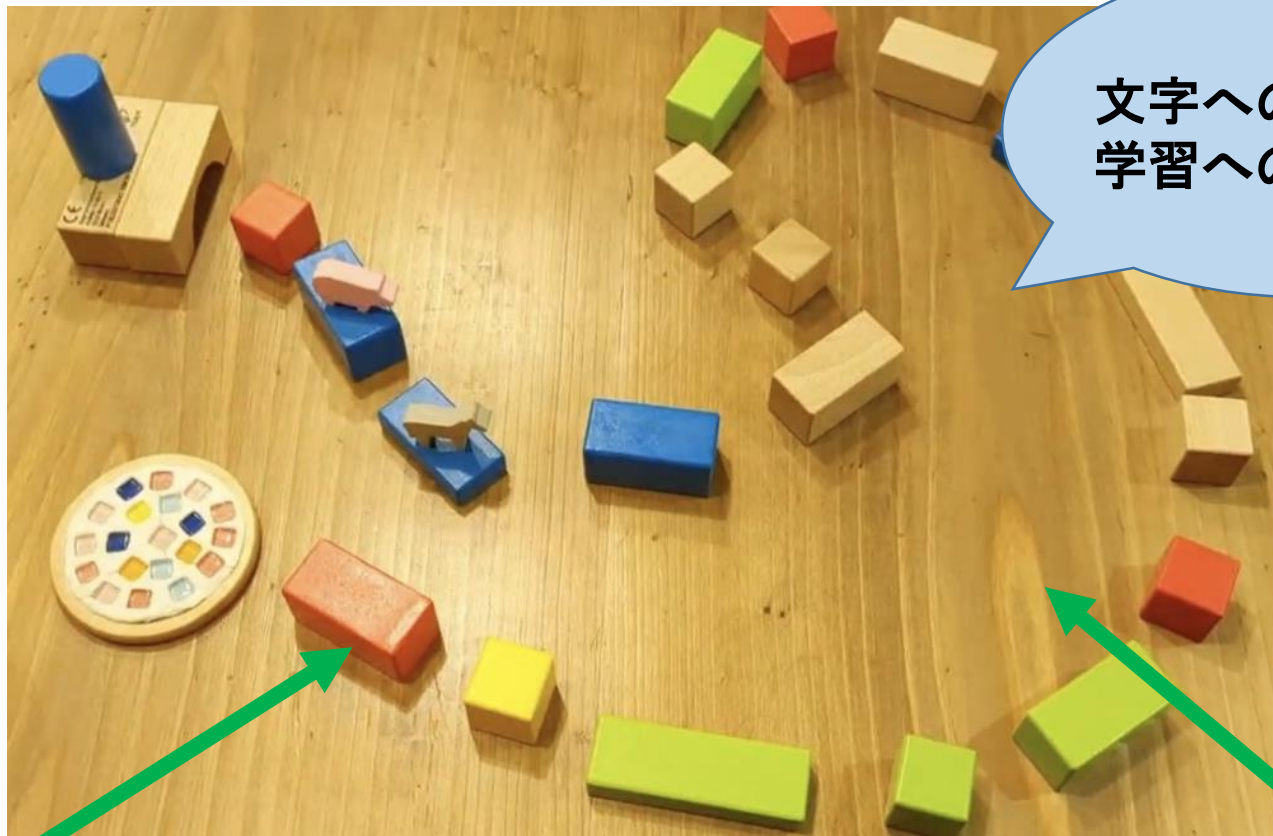
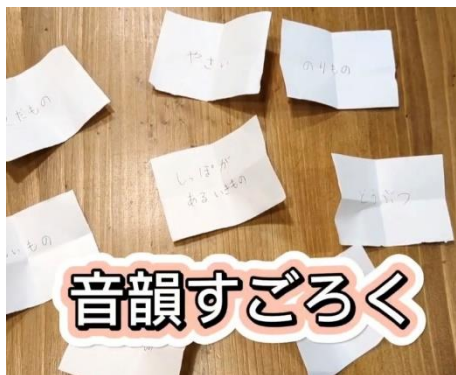
音韻すごろく



ことば

からだ

手先



文字への興味、
学習への入り口に！

楽しく音韻意識が育つ
→しりとりが出来る様になる

読み書きの基礎を育てる

特におすすめ！

共通点は・・・親子でふれあい！→心の安定に繋がる

階段・トンネル・逆走！
おとなも一緒に！



ベビーマッサージも一緒にしよう！

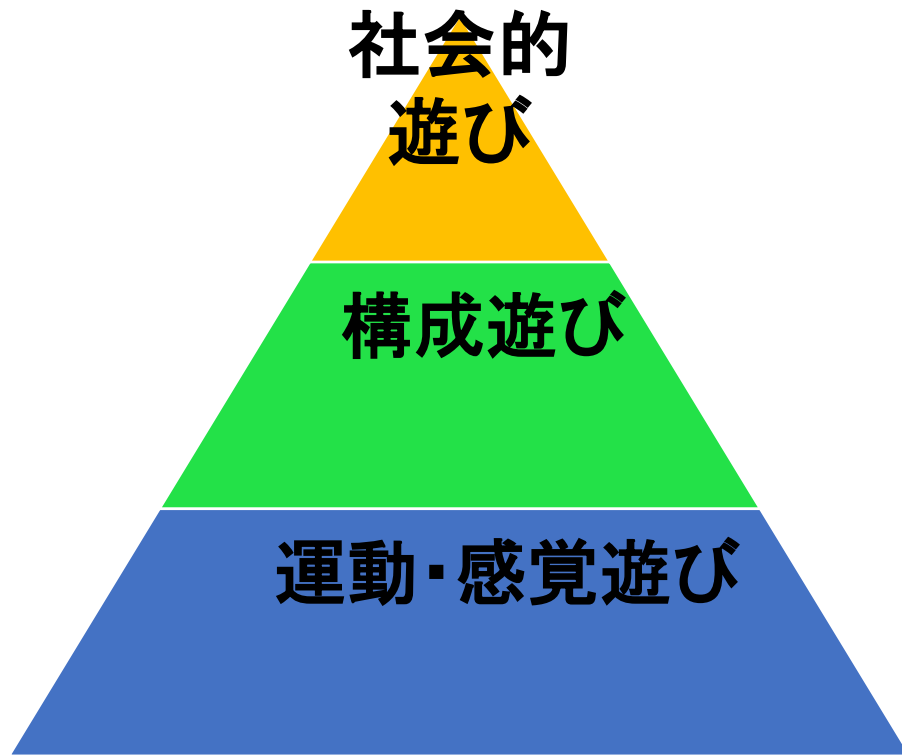


本を通して
会話をしよう！

常に確認したいこと

- ・遊ばないのか、遊びたいのか
- ・“遊び方”に決まりはない！子どもの自由な発想を楽しもう！
- ・その子が“いま”夢中になっていることは何か？
- ・大人にしてほしいことは分けよう
→こどもの分かる言葉で説明、やるかを決めるのは本人

遊びの本質



・こどもは遊ぶ事を通して自分や他者、
この世界を知ることが出来る

・こどもの遊びは長い目で見ていくこと
が大切

・その子の好きを見つけて、拾い上げて
広げていくことが私たちに出来ること
→生きる力を育て、社会に出て幸せに
生きていく土台を作る